

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
B-141	C-141	24-402	京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 鶴身孝介 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 松下幸生
題名 (原題/訳)			
Associations of Menstrual Cycle and Progesterone-to-Estradiol Ratio With Alcohol Consumption in Alcohol Use Disorder: A Sex-Separated Multicenter Longitudinal Study 月経周期とプロゲステロン/エストロゲン比とアルコール摂取との関連性: アルコール使用障害における性別で分けた多施設縦断研究			
執筆者			
Sabine Hoffmann, Sarah Gerhardt, Christiane Mühle, Iris Reinhard, Dominic Reichert, Patrick Bach, Rafat Boroumand-Jazi, Christine Kuehner, Alvaro Aguilera, Acelya Aslan, et al.			
掲載誌			
Am J Psychiatry . 2024 May 1;181(5):445-456. doi: 10.1176/appi.ajp.20230027			
キーワード			PMID
アルコール使用障害、プロゲステロン、エストラジオール			38196336
要旨			
<p>目的: アルコール使用障害 (AUD) は公衆衛生上重要な問題であり、性特異的な特徴がある。プロゲステロンとエストラジオールは、それぞれアルコール摂取を減少させたり増加させたりする可能性があることが、初期のエビデンスから示唆されている。しかし、女性の月経周期や、女性や男性におけるプロゲステロンとエストラジオールの比率が、AUD 患者のアルコール使用パターンにどのように影響するかについて、よりよく理解する必要がある。</p> <p>方法: 性別を分けた多施設縦断研究を実施した。2020 年から 2022 年にかけて AUD を発症した自然周期の女性 74 人と男性 278 人を対象に、現実のアルコール使用 (21,460 件のスマートフォンエントリーより)、月経周期、血清プロゲステロン/エストラジオール比 (4 回の個別研究訪問時の 667 件の血液サンプルより) に関する 12 ヶ月間のデータを、一般化線形混合モデリングと一般線形混合モデリングを用いて解析した。</p> <p>結果: 月経周期の段階は、むちゃ飲みとプロゲステロン対エストロゲン比と有意に関連していた。黄体後期では、月経期、卵胞期、排卵期と比較して、むちゃ飲みの予測確率が 13% 低く、プロゲステロンとエストラジオールの比率の予測平均値が 95 と高かった。男性では、プロゲステロンとエストラジオールの比率が高いほど、むちゃ飲みやアルコール使用の可能性が低くなり、ホルモン比が 10 単位増加すると、オッズ比は 0.918 および 0.914 だった。</p> <p>結論: これらの生態学的に妥当な結果は、AUD を有する女性と男性において、高いプロゲステロン対エストロゲン比が問題飲酒に対する保護効果を有することを示唆し、プロゲステロン対エストロゲン比を有望な治療標的として浮き彫りにしています。さらに、結果は、AUD を有する女性が月経周期の段階に合わせた治療から恩恵を受ける可能性を示しています。</p>			